



Daily Comment

株式会社ワカバヤシ エフエックス アソシエイツ

WAKAFX
FX ASSOCIATES

Tel: 03-5695-7750 Fax: 03-5695-1150

http://www.wakafxinfo.com/ E-mail: wfxa@wakafxinfo.com

2019年6月14日

8時44分現在 ドル/円相場：108.32-35

ドル/円は値幅の小さい足が連続しており、方向感に乏しい展開です。強い下値抵抗を守っていますが、トレンドが弱い状態に変わらぬので、ドルの戻り売り方針継続とします。

ドル買いは昨日同様に108.10-20の浅い押し目を軽く試し買い程度に。損切りは107.70で浅めに一旦撤退です。ドル売りは108.50-60の戻りを軽く売って109.30に損切りを置くか、108.80-90の戻り待ちとします。吹き値があった場合の上値余地を109.20近辺まで見て置く必要があります。この場合の損切りは109.50で一旦撤退です。短期トレンドは110円台を回復しない限り変化しません。

日足の上値抵抗は108.80-90、109.10-20に、下値抵抗は、108.10-20、107.50-60にあります。

ユーロ/ドルは小幅続落となりました。1.1350超えを見ておらず、また直近の陰線が1/10に付けた1.1570を起点として上値を切り下げて来た流れに再び戻した形となっています。一方で、1.1200~1.1230ゾーンに強い下値抵抗が出来ていること、21日移動平均線が1.1214に位置しており足元を支えていること、先週の週足が寄り付き安値の陽線となり、立ち上げの可能性を示唆していることから、1.12台前半での突っ込み売りにも注意が必要です。買いは短期トレンドの変化を確認するまで様子を見るか、1.1240-50以下で試し買い。損切りは1.1180で撤退です。ユーロ売りは1.1310-20の戻り待ち。損切りは短期トレンドが変化する1.1360で撤退です。1.1200割れで終えた場合は再び下値リスクが高くなります。

ユーロ/円は小幅続落となりました。上値の重い感がありますが、短期トレンドがニュートラルな状態を保っており、120.80-90の抵抗を下抜けて終えない限り、突っ込み売りにも注意が必要でしょう。買いは121.80-90で押し目買い。下値余地を121.50近辺まで見て置く必要があります。損切りは下値リスクが点灯する120.80で撤退です。ユーロ売りは様子見です。

ポンド/ドルは小幅続落。下げ余力の強いものではありませんが、短期トレンドが弱いので1.2720-30での戻り売り方針継続とします。損切りは1.2780で一旦撤退です。買いは様子見です。1.2580-1.2600近辺に強い下値抵抗があります。短期トレンドは1.28台を回復すればニュートラルな状態に戻しますが、1.3050超えて越週するまでは下値リスクを残します。

ポンド/円は2手連続陰線引けとなり、短期トレンドは“ポンド弱気”の流れにあります。また、直近の陰線が6/4に付けた136.56を直近安値とする短期的なサポートラインを下抜けた位置で終えており、下値余地がさらに広がる可能性が高くなっています。135~136円ゾーンの下値抵抗にも注意しつつ、ポンドの戻り売り方針継続とします。売りは137.60-70で戻り売り。上値余地を138.10-20近辺まで見て置く必要があります。損切りは138.40で一旦撤退です。買いは様子見です。短期トレンドは139円台を回復しない限り変化しません。

スイス/円は十文字の寄せ線となり、寄り付き水準に戻して引けています。短期トレンドが弱い状態に変わりありませんが、下値抵抗を守っているので突っ込み売りにも注意が必要でしょう。買いは1日様子見です。売りは109.40-50の戻り待ちとします。損切りは110.10で撤退です。強い下値抵抗は108.80-90、108.00-10にあります。108円割れで終えない限り、突っ込み売りにも注意が必要です。

NZ/円は小幅続落。上値を切り下げる流れに変化が認められませんが、70円台に中・長期的な下値抵抗が控えており、小反発を繰り返す可能性があります。但し、70円割れで越週した場合は新たな下落リスクが生じます。買いは様子見です。売りは71.30-40で戻り売り。損切りは71.70で一旦撤退です。72.40超えて越週するまでは下値リスクにより警戒が必要です。

豪ドル/円は続落。単体では下げ余力の強いものではありませんが、75円割れを見て日足、週足ともに一段の下落リスクが生じています。74円台には本体強い下値抵抗がありますが、トレンドが非常に弱い状態にあるの

© 2019/WFXA

当社に無断で複製または転送することは、著作権の侵害にあたります。民法の損害賠償責任に問われ、著作権法第119条により罰せられますのでご注意ください。

尚、このレポートは情報提供を目的としており、投資の最終判断は投資家自身でなさるようお願い致します。



Daily Comment

株式会社ワカバヤシ エフエックス アソシエイツ
WAKAFYASHI
FX ASSOCIATES

Tel: 03-5695-7750 Fax: 03-5695-1150

http://www.wakafxinfo.com/ E-mail: wfxa@wakafxinfo.com

で値頃感からの買いは控えた方がいいでしょう。買いは様子見です。売りは75.10-20で戻り売り。損切りは75.60で一旦撤退です。

トルコリラ/円は18.50-55の日足の抵抗を守り切れずに陰線引けとなり、続落の可能性に注意が必要です。18.20-25に日足の抵抗がありますが、これを下抜けて終えた場合は下値リスクが点灯、17.90-95割れで終えた場合は短期トレンドが変化して一段の下落リスクが生じます。19.10超えで終えるまでは下値リスクへの警戒が解けません。上値抵抗は18.50-55、18.80-85、19.10-15に、下値抵抗は18.20-25、17.90-95にあります。

【ドル/円、中長期戦略】

5月足は安値圏で引ける陰線で越月しており、下値リスクが高い形となりました。また、この足が2012年9月に付けた77円台を起点とする長期的なサポートラインを下抜けており、一段の下落リスクが生じています。2016年6月のBrexit時に付けた99.02を起点とする中期的なサポートポイントが107.80~108.30ゾーンにあり、最後の下値抵抗として働く可能性があります。107.50割れで越月した場合は100~102円方向への新たな下落リスクが生じます。31ヶ月、62ヶ月移動平均線は111.07と112.24に位置しており、5月の上値トライでもこれらを上抜け切れずに反落しており、中・長期トレンドは“ドル弱気”の流れに入っています。一方直近の週足は十文字の寄せ線に近い形で越週しており、上下の抵抗を攻めきれずに週初の水準に戻した形となりました。上値を切り下げる一方で、下値抵抗も守っており107.40-50の週足の抵抗を下抜けて越週しない限り、下値余地はまだ拡がり難い状態です。一方で上値も109.60~110.00ゾーンに週足ベースで見た強い上値抵抗が来ていることや、中期トレンドが弱い状態にあることから、下値リスクにより警戒が必要です。今週の週足の上値抵抗は108.50-60、109.60-70に、下値抵抗は107.40-50、106.00-10、104.60-70にあります。31週、62週移動平均線は110.69と110.83に位置しており、これらを下抜けて中期トレンドは“ドル弱気”の流れにあります。

野線分析

直近の日足は値幅の小さい陰線で終え、極端に狭いレンジ内での動きに留まっている。下値抵抗を守る一方で、上昇余力にも欠ける状態となっているが、短期トレンドの変化は認められない。中期的な下値抵抗ポイントにあるのでドル売りにも慎重にならざるを得ないが、トレンドが弱い状態にあるのでドルの戻り売り方針で。

上値は、108.50-60に軽い抵抗が、108.60-70にやや強い抵抗が来ているが、これを上抜けた場合は上値余地が若干拡がり易くなり、108.80-90、109.10-20、109.50-60にある一段と強い抵抗をどこまでクリア出来るかトライする動きへ。109.30超えで終えた場合は日足の形状が改善して下値リスクが若干後退するが、110.00超えで越週するまでは短期トレンドは変化しない。下値は、昨日の値動きの中で108.10-20にやや強い抵抗が来ている、これを下抜け、さらに107.80-90の抵抗も下抜けた場合は107.50-60、107.00-10にある下値抵抗をどこまで切り崩せるかトライする動きへ。107円割れで終えた場合は新たな下落トレンド入りの可能性が点灯する。



© 2019/WFXA

当社に無断で複製または転送することは、著作権の侵害にあたります。民法の損害賠償責任に問われ、著作権法第119条により罰せられますのでご注意ください。

尚、このレポートは情報提供を目的としており、投資の最終判断は投資家自身でなさるようお願い致します。